戦争の記憶を次の世代につなげるためにできること

2班　氏名

・平和とは戦争がなく世界中の人々が幸せに暮らせること。
・平和とは、当たり前のように、普通に生活ができること。
・戦争の歴史で一部の人々の犠牲があったこと。
・誰もが安心して幸せに過ごすこと。

平和記念公園・原爆ドーム



・焼け野原になった町に土を盛って公園にしたため、地面を掘るとがれきが出てくると聞いて、本当にここに原爆が落とされたということを改めて感じた。
・教科書からは感じることのできない原爆の被害の大きさがわかった。
・原爆ドームを見て原爆の怖さや次の世代に伝えなければいけないと思った。





広島平和記念資料館



・「平和は与えられるものでなく、みんなで創るもの」という平和へのちかいの一節が印象的だった。
・国の中でも宗教や人々が分断に陥りがちであるが、国同士ではなく自他に原爆が落とされたのだと思った。

全国こども平和サミット

・戦争を経験された方の変遷で、話にもうに平和とはいけないと思った。





広島平和記念資料館



・原爆によって被害で人々が後遺症に苦しんでいて、被爆が終わりではない。
・全身が平均的な人の年表で見て原爆の恐ろしさを再認識。
・亡くなった方一人一人のそれぞれの家族の存在も考えると切なく感じた。





・平和な世界をつくっていくのは私たち学生にもできることがある!!
・平和とは、一人一人が支え合い、対話を通して協力し合える環境をつくることだと思う。
・平和のために、まずは身の回りの人に話すことで戦争について知ってもらうことが大切だと思った。
・なぜ戦争がだめなのかを深く理解し、平和とは何かを考え身の回りの人と協力し幸せな自分を創りあげる事だと思う。

自分たちの力で戦争をなくすことはできないから、まずは今回の派遣で学んだことをまずは自分の身のまわりの人たちに伝えていこうと思った。
広島だけでなく、全国の小中学生のこの次世代にになう若者たちがその輪を広げていくことで、日本国内で平和の大切さが広まって、世界の平和にもつながる!!
この貴重な経験をたくさんの世代で語りついでいきたい。